

No. 631
合併号

一人ひとりがまちづくりの主役です

広報 **びらとり** 2013 12月・1月 2014

輝くびらとり未来につなごう



きみかげ草クリスマスコンサート (12/1)

特集	平取町長の年頭のごあいさつ 『2013年を振り返る』	P2
	ご冥福をお祈り申し上げます	P4
	よい食一生食育だより	P6
	まちのひろば	P8
	すこやかだより	P14
	民生委員・児童委員の紹介	P5
	年末年始の業務案内 ほか	P7
	教育委員会からのお知らせ	P10
	図書館へ行こう	P15

謹賀新年

川上町長の年頭のごあいさつ



新春を迎え、皆様におかれましては、ご家族共々健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。
また、日ごろより町行政の推進にあたり、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今年の情勢と町の動き

東北大震災からの復興が着実に進む中、あらためて人間の底力とたくましさを感じを受けているところですが、一方で不安定な世界情勢が日々報道され、依然として国民生活に不安の残す一年であったと感じています。そのよな中、皆様が安全で安心した生活ができる「まちづくり」を目指し、さまざまな施策と新しい試みに取り組んで参りました。

昨年の出来事の中でも「二風谷イタ」と「二風谷アットウシ」が、北海道初の経済産業大臣による伝統的工芸品の指定を受けたことは大きな快挙であり、大変誇らしいものでした。

また、「びらとりトマト」は北海道随一の生産量を誇り、これまでの農家の方々や関係者の努力と農業施策の推進によって販売額が40億円を超え、一級品ブランドとして完全に定着したと感じているところです。

さらに、平成21年に突然の事業凍結となった平取ダムにつきましても、流域住民の安全に関わる大変重要な事業であるため、流域住民の方や関係者と協力しながら早期事業化へ向けて国への要望を重ねて参りました。そして多くの議論と検証が行なわれた結果、事業継続との方針が打ち出され、胸を撫で下ろしていたところです。

平成26年の町政と展望

本年は、増税など国民の負担が増えることが決定している一方で、地方行政については依然として財政や福祉、教育、産業対策も含めて多くの課題が山積してお

り、今後も皆様の協力を頂きながら待ったなしで尽力していかなければと強い使命感を感じています。

また、本年につきましては、とりわけ大きな行事として、新しいびらとり温泉のオープンを控え、お待ちしております。この温泉改築事業は、年月をかけて議論と検討を重ね、時には厳しい意見も頂きながら本年、完成の年を迎え、末永く皆様に愛される憩いの場となるよう今から楽しみにしているところです。

さらに、町政の重要な指針となる平成28年度から10年間の事業計画「第6次平取町総合計画」が新たに始まることに鑑み、本年からさまざまな意見を頂きながら、計画の策定を進めて参ろうと身を引き締めているところです。

住みよい町を目指し、町民と議会、行政が一体となって、皆様のご期待に沿うよう、全力を尽くして参りますので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、本年が、輝かしく良き一年となりますよう心からご祈念申し上げます。

平取町長 川上 満

初春をお慶び申し上げます

町議会	議長	鈴木修二
同	副議長	安田功二
同	議員	櫻井幹也
同	議員	丹野信一
同	議員	四戸正彦
同	議員	松澤以久子
同	議員	貝澤真澄
同	議員	千葉良則
同	議員	松原俊幸
同	議員	山田一明
同	議員	藤澤佳宏
同	議員	平村公子
(議席順)		
代表監査員		山田和博
農業委員会	会長	福山昭二郎
教育委員会	委員長	本間稔浩
選挙管理委員会	委員長	遠藤裕昭
公平委員長		佐々木孝
国保運営協議会	会長	安田功二
民生児童委員協議会	会長	福原謙吉
副町長		泉澤敏裕
教育長		松本周次

2013年を振り返る

1月

- 消防出初式(貫気別)
- 地域活性化シンポジウム
- 成人式

2月

- 義経雪あかり
- 全道PKグランプリ
(84チーム 約700人参加)
- 初午祭
- シシリムカアイヌ文化祭

3月

- 木質バイオマスセミナー
- 「二風谷イタ」、二風谷アツトウシ」国の伝統的工芸品に指定



- 平取町和牛生産改良組合設立50周年記念祝賀会

4月

- 「こころのホームふれない」開所



- 「21世紀・アイヌ文化伝承の森」再生計画協定締結

5月

- 沙流川歴史館入館者数30万人達成
- 振内親子ハイキング
- 振内町民ラジオ体操1000日大会

6月

- すずらん観賞会
- グリーンフェスティバル
- 平取町家畜共進会
- グリーンフェスティバル
- びらとりホテルの会ホテル放流
- 貫気別ファミリアフェスティバル

7月

- モンキーリバーランド夏まつり
- 北海道オールドカーフェスタ in びらとり
- 平取町民大学開校
- 全町老人スポーツ大会
- 幌尻まつり

8月

- 義経神社例大祭
- チブサンケ
- ふれあい広場
- 平取ダム建設に伴うカムイノミ

9月

- 「平取町暴力団の排除の推進に関する条例」制定
- 戦没者追悼式
- びらとり沙流川まつり



- 町民マラソン大会

10月

- 全町老人の集い
- びらとりトマト・和牛フェア 2013



- びらとり町食育セミナー
- 交通事故死ゼロ500日達成

11月

- 秋の叙勲、大崎信夫氏旭日双光章受章
- 文化祭
- 地域商品券販売
- 町づくり住民大会
- 国際シンポジウム

12月

- ポランティアの集い
- 総合計画審議会

旭日双光章・平取町名誉町民・前平取町長

故中道善光氏のご冥福をお祈り申し上げます



氏は、昭和10年11月、父・保太郎氏と母・ミツ氏の長男としてお生まれになり、小学校と中学卒業後は苫小牧工業高等学校の電気課程に進学し、最終的に中央大学法学部を卒業され、昭和29年7月に平取町(当時は平取村)に奉職されました。以来、37年余にわたる平取町職員として地方行政に携われ、平成4年には町民

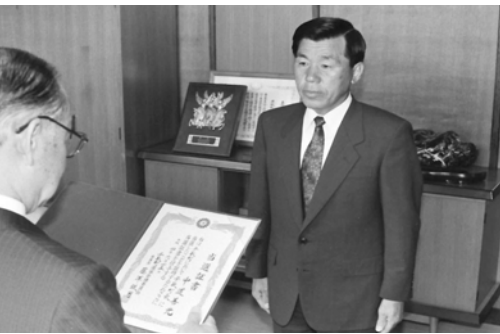
の絶大な信望を担いながら町長に当選され、これまでの豊富な経験と信念に基づき地方自治の進展に尽力されました。氏は特に、地方自治の根幹である住民の福祉増進を図ることを目指し、老人福祉寮「やすらぎ荘」や「びらとりデイサービスセンター」、「ケアハウスしずか」の整備など、いち早く高齢化社会に対応した町づくりを進められました。

また、市街地の活性化を図りながら町民の多目的集会所「ふれあいセンター」びらとり」の建設を推進し、子育て世代を支援するため児童館の開設や、老朽化した学校を改修しながら給食を開始させたり、アイヌ文化の発展とイオル事業の推進にも尽力するなど、幅広い施策を展開されました。さらに、平取町は農業と林業を基幹産業として発展していくことが不可欠として、農業基盤の確立を目指し、圃場整備の推進や、ビニールハウ

スによる施設野菜の栽培を奨励することで町はトマト生産有数の町として発展し、「ニシパの恋人」のブランド化に大きく貢献されました。また、こうした功績とともに温厚なお人柄は信頼も篤く、多くの方々に慕われるものでした。そして、氏は4期16年という町長の責務を全うされ、平成20年7月に現在の町長へバトンタッチする形で退き、引退後はご家族とお過ごしになられていました。

氏のこれまでの功績は、旭日双光章・平取町名誉町民など数多く顕彰となっており、多くの方々に敬慕されるものと存じます。ここに氏の永年にわたる活躍を偲び、その功績を讃え、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

平取町名誉町民で前平取町長の中道善光氏が、12月9日午後2時35分、享年79歳で逝去されました。



平成4年6月、平取町長選挙にて初当選し当選証書を授与される中道氏

また、市街地の活性化を図りながら町民の多目的集会所「ふれあいセンター」びらとり」の建設を推進し、子育て世代を支援するため児童館の開設や、老朽化した学校を改修しながら給食を開始させたり、アイヌ文化の発展とイオル事業の推進にも尽力するなど、幅広い施策を展開されました。さらに、平取町は農業と林業を基幹産業として発展していくことが不可欠として、農業基盤の確立を目指し、圃場整備の推進や、ビニールハウ

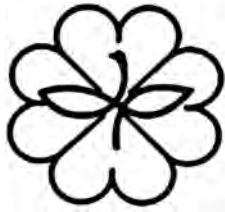


平成16年7月、町長就任4期目の初登庁にて職員からの歓迎を受ける中道氏

中道善光氏の主な公職歴

- 平取町長 (H4.7～H20.7 4期16年)
- 平取町外3(2)町衛生施設組合長
- 沙流土地改良区理事長
- 北海道土地改良事業団連合会日高支部副支部長
- 日高西部消防組合議会議員・副管理者
- 北海道町村会監事・理事
- 日高町村会副会長・監事・理事
- 日高総合開発期成会会長・副会長

新しい民生委員・児童委員を紹介します



民生委員・児童委員のマーク

民生委員・児童委員は、皆さんが日常生活を送るうえで悩んだときに身近にいて相談を受け、必要な支援を行う奉仕者です。

この度、一斉改選が行われ、次の方々が選任されました。生活のことや子どものことなど困った時は気軽に相談ください。

なお、12月5日の協議会において、会長に福原謙吉さんが選任されました。

- | | | | | |
|--|--|--|--|---|
| <p>○ 暮らしたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 住まいに関する事 ○ 近所付き合いに関する事 ○ 生活費に関する事 (職業や年金など) ○ 生活福祉資金など各種貸付制度の利用に関する事 ○ 生活保護に関する事 ○ 遊び場、通学路などの危険箇所に関する事 ○ 公害や環境衛生に関する事 | <p>○ 家族関係のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 結婚、離婚に関する事 ○ 親子関係に関する事 ○ 扶養に関する事 ○ 相続に関する事 | <p>○ 育児・教育のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 育児やしつけに関する事 ○ 虐待、いじめや不登校に気が付いたとき ○ 学校生活の悩みに関する事 ○ 非行に関する事 | <p>○ その他の困りごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身体や障害に関する事 | <p>在宅生活に関する事</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎日の介護で困っている事 ○ 福祉サービスの利用に関する事(ホームヘルプ、給食移送、除雪サービスなど) ○ 福祉施設等利用に関する事(デイサービス、ショートステイなど) |
|--|--|--|--|---|

民生委員 児童委員

(敬称略)



福原 謙吉
川向 2-2070



三浦 ミツエ
紫雲古津 2-2897



平日 常子
去場 2-3537



和田 与志男
荷菜 2-2722



原 節子
荷菜 2-2023



村上 昭子
本町 2-2890



遠藤 一紀
本町 2-2881



平村 盟
本町 2-2365



宮越 博子
本町 2-2539



佐藤 洋子
小平 2-2947



藤谷 るみ子
二風谷 2-3408



貝澤 順治
二風谷 2-2069



福与 弘一
荷負 5-5036



木村 榮
貫気別 5-5618



樫野 勇司
貫気別 5-5662



清水 孝子
貫気別 5-5259



合田 待子
旭 5-5917



高瀬 哲朗
芽生 5-5806



橋内 浩吉
長知内 5-5424



森 滋子
振内町 3-3055



瀧 博明
振内町 3-3177



奥村 秀宏
幌毛志 3-3743



熊谷 厚子
豊糠 3-3366

主任児童委員

(敬称略)



佐藤 伸子
本町 2-4030



本多 敦恵
振内町 3-3239



よい食一生 ● 食育だより



保健福祉課 保健推進係 No.3

早寝・早起き・朝ごはんは、元気の基本

『平取高校地元特産品開発事業 新レシピ試食会』開催

平成23年度より、平取高校の授業の一環として、平取町農業協同組合が協力・支援を行い、地域の特産品について学び、その特産品を活用した料理の研究開発に取り組む事業が行われています。

今年は11月14日（木）平取高校1階視聴覚室にて新レシピの試食会が開催されました。

主な取組としては、昨年ローソンと共同開発を行い道内約530店舗に期間限定で“トマターマカレーデニッシュパン”を販売、また昨年・今年と小中学校ふるさと給食メニューとして“キーマカレー”“びらタコライス”が実施されました。

今年は、トラットリア・ピッツェリア テルツィーナ オーナーシェフの堀川秀樹氏に講師を依頼し、地元産トマトの有効な活用法、レストランにおける地産地消の実践的な活動などについての学習を行いました。



『びらとり町食育セミナー』開催

10月27日（日）に上記セミナーが開催されました。

天使大学の荒川教授による基調講演と町内で取組まれている食育活動の活動報告会、そのあとに教授と報告者、会場の方を交えた懇談会が行われました。

基調講演では、道内で取組まれているさまざまな食育活動の事例を盛り込みながら、平取町の地場産品の栄養価値や地産地活についての話や町内のさまざまな食に関わる方たちとのネットワークづくりの重要性、将来を担う子どもたちとの関わりなど、これからの平取町の食育活動について、深く考える日となりました。報告会・懇談会では、平高「トマトクラブ」、小中学校「ふるさと給食」、地産地消の会「ニシパの恋人ランチ」の取組報告があり、高校生による、トマトの新作レシピ試食も行われました。



よい食一生 ニュース



道教育庁で、平成24年に全道無作為抽出による、小5・中2の児童・生徒、約7,000人を対象に生活習慣、食習慣、家庭での食事、保護者の意識等のアンケート調査が実施されました。朝食の欠食状況の結果について、一部を右記のとおりご紹介いたします。



朝食を「必ず食べている」と回答している割合は、小学校で男子93.3%、女子92.0%、中学校で男子87.6%、女子88.1%となっている。「ほとんど食べない」と回答している割合は、小学校で男子1.3%、女子1.3%、中学校で男子2.6%、女子2.3%となっている。全国との比較では、小中学校ともに「必ず食べている」と回答している割合は、北海道の方が高い（小学校+2.1%、中学校+1.1%）。

朝食を食べない理由は、小・中学校ともに「食べる時間がないから」が一番高く、次いで「食欲がないから」となっているが、男女別にみると、男子は、小中学校ともに一番が「食欲がないから」、女子では「食べる時間がないから」である。地域別でみると、特に中学校男子は、都市部が「食欲がないから」、郡部が「食べる時間がないから」と回答している割合が一番高い。小中学校ともに「食事が用意されていないから」と回答している割合は、郡部の方が高い。

ご存知ですか？ NASVA (ナスバ)

自動車（バイクを含む）事故で、脳や脊髄または胸腹部臓器に損傷を受け、常時または随時の介護を必要とする方を対象に、経済的、精神的、肉体的な負担を軽減することを目的として、介護料の支給および短期入院費用の助成を行っています。

また、自動車事故によって保護者が死亡したり重度の後遺障害（脳損・脊損）が残ることとなった方のお子様を対象に、生活資金の無利子貸付けを行っています。

この他にも、生活状況が困窮していると認められる方に対する生活資金の貸付けも行っています。

支給金額および申請手続き方法については、下記連絡先にお問い合わせください。

問合せ先 独立行政法人自動車事故対策機構 札幌主管支所

☎ 011-551-2145 ホームページ <http://www.nasva.go.jp/>（“ナスバ”で検索）

〒 064-0808 札幌市中央区南8条西15丁目 ハイヤー会館



年末年始の業務案内

下記の期間、公共施設および病院を閉庁・閉館・休診します。
各種手続きはお休み前にお済ませください。

役場本庁・役場両支所	12月31日(火)～1月5日(日) (戸籍届出は受付)
中央公民館	12月31日(火)～1月5日(日)
町民体育館	12月29日(日)～1月5日(日)
振内町民センター・振内青少年会館	12月29日(日)～1月5日(日)
貫気別町民センター	12月29日(日)～1月5日(日)
ふれあいセンターびらとり	12月31日(火)～1月5日(日)
図書館	12月30日(月)～1月5日(日)
児童館・子ども発達支援センター	12月27日(金)～1月5日(日)
二風谷アイヌ文化博物館	12月16日(月)～1月15日(水)
沙流川歴史館	12月31日(火)～1月6日(月)
平取町外2町衛生施設組合	12月31日(火)～1月5日(日)
国保病院	12月31日(火)～1月5日(日) (救急随時受付)
振内診療所	12月28日(土)～1月5日(日)

国際シンポジウム (11/17)

先住民族文化遺産の評価・保存・活用などについて考える国際シンポジウム「先住民文化遺産とツーリズム」が、11月17日に沙流川歴史館で開催され、石川県金沢市における取り組み事例紹介のほか、有形無形の文化遺産を活かした観光振興対策のあり方などについてパネルディスカッションが行われました。



食と音楽の夕べ (11/24)

平取トマトスタンプ会発足20周年記念事業「食と音楽の夕べ」が、11月24日に中央公民館で開催されました。

食事は「びらとり地産地消の会」がびらとり和牛や黒豚を使用した当日限定のメニューを提供し、Tomokoさん・キャバーンクラブによる、ビートルズやベンチャーズなどの往年の名曲が華麗に演奏されました。



きみかげ草クリスマス琴コンサート (12/1)

琴アンサンブルきみかげ草（滝沢奈々美代表）のクリスマス琴コンサートが、12月1日にふれあいセンターびらとりで開催されました。

「ジングルベル」や「島唄」など、計11曲をエレキベース・パーカッションとコラボして演奏し、およそ150人の観客は美しい琴の音色を堪能していました。



総合学習授業の取り組み (二風谷小・振内小)

町内の小学校では、総合学習授業の取り組みとして地元のアイヌ文化への理解を深める学習をすすめています。

二風谷小学校では、11月にアイヌ文様の木彫り体験が行われ、地元の工芸職人から教わりながらコースターやチーズボード用の板に「モレウノカ（渦巻きの形）」や「ラムラムノカ（ウロコの形）」などのアイヌ文様を、のみで苦戦しながら彫っていました。

また、振内小学校では、12月6日に3・4年生がアイヌ民族の伝統料理「コンプシト（昆布だれの団子）」作りを行い、グループみんなでイナキビと米粉を練り合わせたり、星形やハート型などいろいろな形の団子を作っていました。

試食会では、自分たちで作成した昆布だれのほか黒蜜やチョコレートなどを付けて食べたり、他のグループが作った団子と食べ比べをして、伝統的な味をかみしめていました。





ボランティアの集い (12/4)

地域のボランティア活動の推進や、いつでもどこでも誰もがボランティア活動に参加できる体制づくりの構築、団体等の相互の連携を図ることを目的とした「ボランティアの集い」が、12月4日にふれあいセンターびらとりで開催され、およそ50人の参加者は講話や体を動かしながらの講演などで、ボランティアやコミュニケーションについて学びました。

注意！ 水道の凍結に注意しましょう

外気温がマイナス4度以下になる12月から2月にかけて、水道の凍結事故が多発します。

水道が凍結すると、水が出なくなるだけでなく、修理に多くの費用がかかることがあります。

就寝前や、旅行などで長時間にわたって水道を使用しないときは、水抜きをして凍結を未然に防ぎましょう。



気象台からの防災メモ ～大雪～

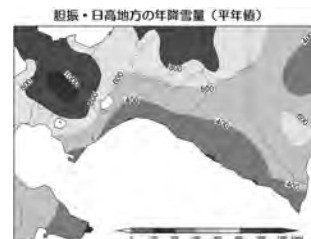
胆振・日高地方で大雪となるのは、発達した低気圧が南の海上を通過する場合には広い範囲で雪が降る場合があります。「西高東低」の冬型の気圧配置でも風向によっては、一時的に強い雪が降る場合もあります。

大雪による災害は、雪がタイヤの半分以上降り積もると車は走ることができなくなることや風が強いとふぶきで見通しが悪く、停車するとふきだまりができて動けなくなることもあります。また、道路の通行止めや公共交通機関の運休など交通障害が発生して市民生活に重大な影響を及ぼすこともあります。

雪の積もり方には地域差があり、風向によっては大きく変化するため細かな予想ができません。

大雪や暴風雪が予想される場合は、なるべく外出を控えるとともに災害に備える準備をおきましょう。もし外出をするときはなるべく広く交通量の多い道路を選んで通ることが必要です。また、大雪の後は屋根に積もった雪下ろし作業による転落や屋根からの落雪にも注意してください。

問合せ先 室蘭地方気象台 (☎ 0143-22-4249)



教育委員会からのお知らせ

子どもの変容の姿確かめながら連携指導の継続を

＜平成 25 年度全国学力・学習状況調査結果から＞

今年 4 月、文部科学省は全国の小学校 6 年生と中学校 3 年生の児童生徒を対象に、国語、算数・数学の 2 教科で「全国学力・学習状況調査」（4 年ぶりの悉皆調査）を実施しました。

8 月の結果公表（文部科学省）および 11 月の結果報告（北海道教育委員会）を基にした当町児童生徒の平均正答率の概要（全国平均比も含む）は下表のとおりです。

平成25年度全国学力・学習状況調査結果 ～平均正答率との比較～

*小A・中A：主として「知識に関する問題」 *小B・中B：主として「活用に関する問題」

区 分	全国平均正答率からみた 平取町の平均正答率との比較				全道平均正答率からみた 日高管内の平均正答率との比較				全道平均正答率からみた 平取町の平均正答率との比較			
	小A	小B	中A	中B	小A	小B	中A	中B	小A	小B	中A	中B
相当高い 7ポイント以上												
高い 5ポイント以上7ポイント未満												
やや高い 3ポイント以上5ポイント未満												
ほぼ同様(上位) 1ポイント以上3ポイント未満											数学	
同様(平均正答率) +1ポイント未満			国語 数学	国語							国語	国語 数学
ほぼ同様(下位) -3ポイントより大きく、-1ポイント以下				数学					算数	算数		
やや低い -5ポイントより大きく、-3ポイント以下							国語					
低い -7ポイントより大きく、-5ポイント以下	算数	算数			算数	国語 算数	数学	国語 数学	国語	国語		
相当低い -7ポイント以下	国語	国語			国語							

(※ 今年度全道平均には札幌市を含む)

小学校は「下位層の割合」、中学校は「無解答率」で改善 [教科に関する調査]

小学校では、昨年度と比較して算数で上昇（全国との差縮小）し、算数Bでは平成22年度から継続して上昇しています。国語では正答率は下がったものの、「北海道は、全国の下位約25%に属する児童生徒の割合が大きい」との指摘に対して、A・B2科目とも下位層の割合が改善され、偏りが是正されてきています。

中学校では数学Bの下降を除いて、ほぼ昨年度並みの全国平均との関係で、平成22年（小6）当時の状況とも大きな差はなく、得点分布状況も昨年同様全科目で偏りは見られません。また、全科目で「無解答率」が全国平均よりも低く、国語A・Bとも1%未満となっており、ほぼ全員がすべての問題に解答している状況にあります。

家庭学習「1時間以上」が増える [児童生徒質問紙による学習状況に関する調査]

家庭学習「1時間以上」の回答の増加と「30分未満」の減少が特徴的です。復習だけでなく「家で予習している」との回答が小・中とも大幅に増えて全国平均を超えました。

ただ、依然として小学生の1/3が平常日のテレビ視聴時間を「4時間以上」と答え、「3～4時間」を合わせると1/2超となり、ゲームについても「3時間以上」との回答が20%を超える状況については、単に学習時間確保上の問題だけでなく、子どもたちの発達全般の問題として受け止め、「子どもをどう育てたいか」という考えに基づいて、大人として適切な対応を考える必要があります。

継続した連携指導を

各学校では少人数集団や複数指導者での個に応じた細やかな指導、「手引き」による家庭学習の取り組み（学年×10分）等を進めており、子どもたちの変容の姿として表れてきているところです。その定着のためにも学校・保護者・地域の連携による継続した取り組みが欠かせません。今後とも身近な子どもたちの成長に関心を持って見守っていただきますようお願いいたします。

からだを使い、頭を使い学びました

×平取町女性の集い×

第34回女性の集いが11月14日に262人の参加により開催されました。

「己抄呼の笑う体操」では、講師の健康アーティスト、己抄呼氏に合わせ体を



講師 己抄呼氏



「己抄呼の笑う体操」の様子



頭の体操 介護について

動かすのですが、頭では理解しても思うように動かず、そこを楽しく指摘され、会場は大爆笑になりました。体操の最後には自分たちの笑顔がスクリーンに映し出され、「笑顔は大切なんだよ」という話に感動する場面もありました。

また、実行委員が演じた頭の体操では、介護についての学習をし、ヘルパーができること、できないことなどを学びました。他には、芸能発表、チャリティーバザー等があり、一日笑いながら楽しく過ごすことができました。

健康も交通安全も日頃の心がけが大事

×町づくり住民大会×



山本 コウタロー氏

11月17日、中央公民館で「町づくり住民大会及び交通安全住民の集い」が開催されました。林克徳門別警察署長による交通安全講話に続き、歌手山本コウタロー氏の講演では、身近な人や自身の体験を基に、“健康寿命”という視点から独自の健康論を展開。ミニライブでは「走れコウタロー」「岬めぐり」などを歌い、会場は沢山の拍手に包まれていました。

また自治会活動等に貢献された次の方々に表彰状が贈られました。

- 住民功勞表彰：福與 明 氏
- 交通指導員5年表彰：大槻 克彦 氏

～サークル紹介～

振内ガーデニアレイ

ハワイアン風の優雅な曲に合わせて、毎週楽しんでいきます。

フラダンスに興味のある方は、気軽に見学に来てください。お待ちしております。

活動日 毎週水曜日 (19:00～20:30)

活動場所 振内町民センター 集会室

《会員募集中》 連絡先 金野佳子 (☎ 3-3440)

創立年	平成 15 年
代表者	金野 佳子
会員数	10 人



教育委員会からのお知らせ

少年団で体力アップ!

＜平取町スポーツ少年団員体力テスト会＞

11月9日、町民体育館で教育委員会とスポーツ少年団本部の共催により体力テスト会を行いました。町内の各スポーツ少年団員を対象とし、今年度は6少年団（平取野球、振内野球、義経剣心会、本町バドミントン、貫気別バドミントン、ふれないソフトテニス Jr.）から計65人が参加しました。

測定種目は、例年どおり日本体育協会が奨励する5種目（下表参照。全年齢共通）としましたので、結果についてはこれまでの自己記録や全国平均と比較ができ、参加した少年団員は、少しでも記録を伸ばそうと皆真剣な表情で取り組んでいました。

全種目と全年齢の平均結果を見ますと、約3分の2で全国平均を上回っており、少年団活動でいかに日頃から体力づくりが行われているかが伺える結果となりました。



◇参加者が最も多かった「11歳・男子」9人の平均結果

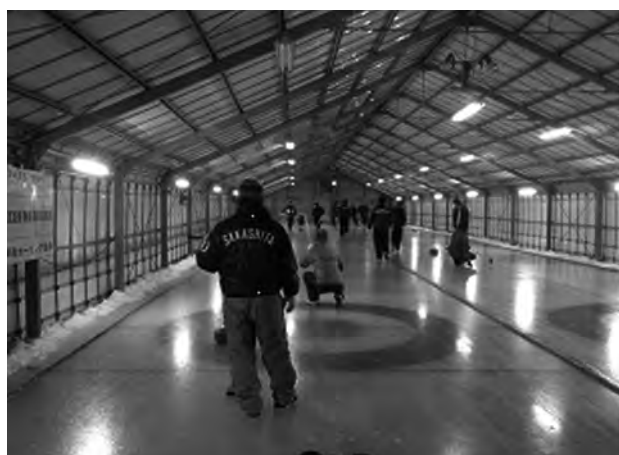
平均	立幅とび	上体起こし	腕立て伏せ	時間往復走	5分間走
平取町	174.3cm	23.4回	14.3回	40.8m	1,104.4m
全国	168.1cm	21.5回	18.5回	39.5m	1,083.1m

(全国平均は平成25年4月現在)

スポーツサークル紹介

＜平取カーリング協会＞

大会開催が主な活動ですが、興味のある個人の方には初心者教室も行っていきます。見学もできますので、お気軽にどうぞ!



〔活動日〕 1月～3月中で不定期
 〔活動場所〕 振内カーリング場
 どうぎんカーリングスタジアム
 (札幌市、年1回)

- 種目 カーリング
- 創立年 昭和58年1月
- 代表 佐々 憲一
- 対象者 平取町民（初心者大歓迎!）
- 入会 4人以上のチームで入会
- 会員数 8チーム45人（昨年実績）
- 会費 1チーム年4,000円
- 連絡先 振内青少年会館（☎3-3469）

アイヌ語弁論大会 イタカンロー

アイヌ語学習の成果発表の場であるアイヌ語弁論大会「イタカンロー」が、10月19日に北海道大学で行われました。今年で17回目を迎えた大会で、アイヌ語を学習している人たちの交流や、一般の方々がアイヌ語やアイヌ文化に触れる機会にもなっています。

北海道を中心に全国から25組、総勢27人の参加者があり、子供の部、大人の部（口承文芸部門・弁論部門）、口演の部に分かれて行われました。

子供の部による発表

5組7人が出場し、織田瑞希ちゃん、龍くん、蓮希ちゃんの3兄弟による「早口言葉」が優秀賞を受賞しました。地域の早口言葉を楽しんで覚えるという子どもらしい学びで、アイヌ語をしっかりと話して発表する良い機会にもなったようです。



大人の部 口承文芸部門

15組が出場した中で、豊田礼子さんによるカムイユカラ「オキクルミ シチカフ」が優秀賞を受賞しました。

昭和42年2月に採録された故西島てるさんの音源が学習素材となっており、「トゥノヤケ レノヤケ クトゥンケ カムイケ カムイ チカッポ フムフム」という非常に長いサケヘ（繰り返し言葉）を織り交ぜながらストーリーを展開していくという神謡です。



大人の部 弁論部門

4組が出場し、木村梨乃さんが優秀賞を受賞しました。

アイヌ語を学んだきっかけや学習の中で得たことについての発表で、自分の想いをアイヌ語の語感や抑揚を交えながらしっかりと表現していました。合わせて「親と子のアイヌ語教室」での学習成果である早口言葉とカムイユカラ「カンナカムイ」も披露しました。



アイヌ語の伝承

弁論大会には毎年、平取町二風谷アイヌ語教室の受講生が何人も出場しています。生徒たちにとっては、自分の習熟度を計る機会であり、入賞を目指すことにより学習の励みにもなっています。

アイヌ語会話の習得は、家庭や地域の暮らしからアイヌ語教室での学びへと徐々に移り変わってきています。そうした中、地域が一体となって、子供から大人までのびのびと学習できる環境づくりが必要です。

教育委員会として、受け継がれてきた言葉の学びをより深めていけるよう、今後も継続的に支援していきます。

目指せ!!はつらつ健康

すこやかだより

Health Information

保健福祉課

平取町子ども

発達支援センター

『ひよこ学級』

子ども発達支援センター

とは、どんなところ？

* 児童発達支援事業

* 放課後等デイサービスの2つの事業を行っています。

児童発達支援事業とは？

未就学児（0才から就学前）のお子さんを対象としています。

発達で気になるところがあるお子さんや保育園に入る前に小集団での活動を経験していく場。また、子育て上の悩みについて相談も受けています。

放課後等デイサービスとは？

小学生から18才までを対象としています。発達で気になるところがあるお子さんや集団生活への対応、日常生活における基本的な動作の習得を実施しています。また、子育て上の悩みについても相談を受けています。

職員構成

* 管理者 1人

* 児童発達支援管理責任者 1人

* 保育士 2人

専門支援

* 作業療法士

* 臨床発達心理士

* 言語聴覚士

（しずない心の杜から月に1〜2回程度支援に来ています。）



巡回療育相談

* 室蘭児童相談所の巡回児童相談

* 道立施設専門支援事業

（北海道立子ども医療・総合療育センターから医師などが年2回来ています）

センターのプログラム

* 午前（幼児）

グループ療育になります。身体遊びや設定遊び（週の遊びをみんなで楽しみます）

* 午後（幼児・学齢）

個別・グループ療育を行います。遊びを通して療育を行います。

赤ちゃんへの言葉かけ

① 赤ちゃんの動きをまねてみる。

* 赤ちゃんは、自分と同じうごきをしてくれる大人に興味を持ち、大人の様子を観察しながら誘いかけてきたりします。

② 赤ちゃんの出す声や音をまねてみる。

* 赤ちゃんがご機嫌なときに出す「ぶーぶー」といった声をまねてあげると、「音を出すことをたのしむようになります。」

③ 赤ちゃんの気持ちをことばで言ってみる。

* 赤ちゃんがおやつを食べながら幸せな気分になったら「おいしいね」といってあげましょう。



④ おとなが自分の気持ちを口にする。

* 自分の行動を口にするとき、赤ちゃんはそんな大人の姿を見て言葉の意味を知ることができます。

⑤ 間違えたことばをさりげなく直す。

* 子どものことばに間違いがあっても、言い直させたり訂正するのではなく、さりげなく直して返してあげましょう。

⑥ 子どものことばを広げて返す。

* 「おおっきいぶーぶ」「ほんた、大きいぶーぶだね、何を積んでいるのかな？」というように話題を少し広げて返しましょう。



★お問い合わせ先
子ども発達支援センター
（ふれあいセンターびらとり内）
☎ 2・3440

電話相談

子育て上の相談をお受けします。
月曜日から金曜日
9時00分〜17時00分
来所相談は電話で日時をご確認下さい。お気軽にどうぞ。

図書館へいこう 平取町立図書館

ふれあいセンターびらとり・3階

○開館時間 火～金曜日 10:00～18:00 土・日曜日 10:00～17:00
 ○休館日 月曜日・祝日 ※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館。
 TEL 4-6666 FAX 4-6871 E risu2@guitar.ocn.ne.jp



新着図書のお知らせ

【小説・エッセイ】

『新釈 にっぽん昔話』／乃南アサ
 『虹の見た日』／澤田ふじ子
 『ノボさん 小説正岡子規と夏目漱石』
 ／伊集院静
 『花のベッドでひるねして』
 ／よしもとばなな
 『デビクロくんの恋と魔法』／中村航
 『カクメイ』／新野剛志
 『書楼弔堂 破曉』／京極夏彦
 『ようこそ授賞式の夕べに』／大崎梢
 『私の中の彼女』／角田光代
 『追憶の夜想曲(ノクターン)』／中山七里
 『五峰の鷹』／安部龍太郎
 『オリンポスの神々と7人の英雄 3』
 ／リック・リオーダン
 『影を買う店』／皆川博子
 『三陸の海』／津村節子



【家庭・生活・趣味】

『羊毛フェルトで作る絵本のマスコット』／須佐沙知子
 『楽しい豆本の作りかた』／赤井都

【社会・経済・その他】

『子どもの難問 哲学の先生、教えて下さい!』／野矢茂樹
 『心配事の9割は起こらない』
 ／柘野俊明
 『文系のための理系読書術』
 ／齋藤孝
 『ちょっと待ったその就活! 就活前に考えておきたい「大学生のキャリアデザイン」』／上田晶美

自分で選んだ本を紹介してみよう 「ぼく・わたしが選ぶ 図書館の一冊」開催!

図書館では、子どもの読書活動推進を目的として、冬休み特別企画「ぼく・わたしが選ぶ図書館の一冊」というイベントを予定しています。



これは、町内の小学生を対象に、図書館の本を一冊選んで冬休み中に読んでもらい、その本の感想や気に入った場面の絵などを書いて応募してもらうという内容です。

応募してもらった作品は、審査を行い低・中・高学年の部ごとに表彰させていただく予定です(賞品あり)。

読書感想文は少し苦手...という人も、自分が選んだ好きな本をほかの誰かに紹介してあげるつもりで、ぜひこのイベントに参加してほしいと思います。

(詳しい内容は、学校で配付するチラシをごらんください。)

図書ワゴン(移動図書館車)運行日程【1月】

9日(木)【貫気別地区】

10:45～11:15 荷負 遠藤和江さん宅前
 11:30～12:00 貫気別生活館
 13:15～13:45 芽生生活改善センター
 14:00～14:30 旭生活館

10日(金)【振内地区】

11:00～12:00 山の駅ほろしり館
 13:15～13:45 岩知志ふれあい館
 14:15～14:45 豊糠生活改善センター

- 貸出期間は、次の巡回日までになります。
- 利用者カードがなくても、ご利用できます。
- 本の返却、不用な本のご寄贈も受け付けます。

1月の休館日

1～5・13・14・20・27日

2月の休館日

3・10・11・17・24日



担当課へは直通
電話が便利です

役場関係電話番号

平取町役場 (本庁)
 総務課(代表) ☎2-2221
 まちづくり課 ☎2-2222
 産業課 ☎2-2223
 税務課 ☎2-2224
 出納室 ☎2-2225
 建設水道課 ☎2-2226
 議会事務局 ☎2-2227
 アイヌ施策推進課
 ☎2-2341
 農業委員会・土地改良区
 ☎2-2695

ふれあいセンターびらとり
 ☎4-6111
 保健福祉課 ☎4-6112
 町民課 ☎4-6113
 児童館 ☎2-3026
 子ども発達支援センター
 ☎2-3400
 地域包括支援センター
 「ほほえみ」 ☎2-3700
 平取町社会福祉協議会
 ☎4-2267
 図書館 ☎4-6666

平取町教育委員会
 中央公民館 ☎2-2619
 町民体育館 ☎2-2749
 二風谷アイヌ文化博物館
 ☎2-2892
 沙流川歴史館 ☎2-4085

役場振内支所
 ☎3-3211
 役場貫来支所
 ☎5-5024

平取町国民健康保険病院
 ☎2-2201

平取町外2町衛生施設組合
 ☎2-2024

日高西部郡庁組合平取支署
 ☎2-2361

平取町公式ホームページ



QRコード

今月のワンショット



■少年野球教室 (12/8 振内青少年会館)

元駒大苫小牧高校野球部監督の香田誉士史さんによる少年野球教室が開かれました。

句 俳 実 櫛

山々に眠りを誘ふ風吹き来
 小春日を無駄なく使ふ一日かな
 凧や身の行く末を預け置く
 古枯らしの上から吹いて山を越え
 木枯らしや折り紙の色重ねをり
 帰り花ひそかに庭の彩りに
 黄落の葉が渦巻ける峡の川
 銀杏散り舗道を画布にして貼り絵
 赤い実の目にささるよな霜の朝
 菊花展終りて一鉢貰い受け
 凧や刻をかきまぜ何処へ行く

柴田 紫梢
 内海 綾子
 吉野 千佳女
 川上 八重子
 西塔 しずえ
 石森 礼子
 中道 サト
 渡辺 正子
 遠藤 紫光
 山崎 喜峰
 井内 青風

ま ち の 人 口	人 口	5,472	(▲ 8)
	男	2,654	(▲ 2)
	女	2,818	(▲ 6)
	世帯数	2,574	(▲ 5)
	外国人住民数	120	

()内は前月比 11月末現在

発 生 状 況	交 通 事 故	発生件数	4件	(▲ 3件)
		死者数	1人	(▲ 2人)
		傷者数	5人	(▲ 2人)
		()内は前年比 11月末現在 死亡事故ゼロ日数	44日	

広報 **びらとり** 2013 (平成 25) 年 12 月
 2014 (平成 26) 年 1 月 合併号 No.631

平取町ホームページ <http://www.town.biratori.hokkaido.jp> Eメール info@town.biratori.hokkaido.jp

発行：平取町役場 編集：総務課広報広聴係 〒055-0192 北海道沙流郡平取町本町 28 番地
 この広報誌は資源保護のため再生紙を使用しています。 ☎ (01457) 2-2221 FAX (01457) 2-2277